

旭が丘小だより

自ら正しく行う旭っ子

令和6年7月19日 NO.9

大村市立旭が丘小学校 校長 赤木 章二



1学期が終了しました！



令和6年度がスタートしてから、あっという間に4か月が過ぎ、今日が1学期最後の日となりました。保護者の皆様、地域の方々のご支援・ご協力のおかげで、1学期を無事に終えることができました。ありがとうございました。

振り返ってみると132名の新1年生を迎えて、全校児童700名がわくわく、どきどきしながら今年度が始まったことが、つい最近のように思えます。コロナ禍では実施できなかった6年生が参加した入学式。6年生はペアの1年生を一生懸命にお世話していました。また、歓迎遠足や毎朝の学習準備、昼休みのお世話などを通して、6年生としての自覚をもつようになり、どんどん頼もしくなっています。今後も旭が丘小学校のリーダーとして、活躍してくれることを期待しているところです。

全校では、「元気なあいさつ」ができるように、生活安全委員会の「あいさつチェック」の取組を中心に頑張りました。まだまだ全員が100点満点のあいさつができているとは言えませんが、確実に良くなってきています。「〇〇さん、おはようございます」と、名前をつけてのあいさつに取り組んでいる学級もありました。とても良い取組です。その輪が全校に広がれば、さらに素敵な旭が丘小学校になると考えています。あいさつは、お互いが気持ちよく生活するうえで、とても大切なことです。まずは、朝起きた時の「おはよう」を笑顔で言えるとよい一日の始まりになりますね。また、交通安全教室や引き渡し訓練、「旭っ子の心を見つめる教育週間」などを通して、命の大切さや命を守ることも学んできました。自分の命はもちろんのこと、家族や友達の命、動植物の命も、かけがえのない命であることを全校で学んできました。全国的、世界的には、悲惨な事件や紛争などで、尊い命が奪われている事実を知り、命の大切さ、平和の大切さを改めて考えることができました。今後も継続して考え、学び続けていきます。

さて、本日、持ち帰っている通知表には、学習面や生活面で一生懸命に努力したこと、できるようになったことなど、1学期の子どもたちの頑張りがたくさん書かれています。子どもたちの頑張りがやよさをいっぱい褒めていただければと思います。明日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みです。長い休みを有効に活用して、夏休みならではの経験・体験ができることを願っています。事故や怪我のない楽しい夏休みを過ごせるよう、ご家庭でもお話いただければと思います。



7月は「ココロねっこ運動」強調月間です！

ココロねっこ運動は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。

①インターネット等の活用に対する家庭でのルール作りの啓発 ②子どもを取り巻く有害環境への適切な対応 ③薬物乱用対策の推進 ④非行防止、再非行の予防 ⑤重大ないじめ等問題行動への対応などが盛り込まれています。

ご家庭でも話題にいただけたら幸いです。

7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です



親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

○就寝2時間前にスマホ、タブレット等の電子映像画面から離れることが睡眠、脳科学、依存症の研究者等から推奨されています。



7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です

ココロねっこ運動



毎月第3日曜日(標準日)は「家庭の日」です！

家族の時間を大切にしましょう

～月に一度は子どもを中心とした

家族だんらんの時間を！～

絵本大好き！ 読書大好き！

図書室の前にある「読書の木」には、子どもたちの読書の実がいっぱいです。今年も子どもたちは、たくさんの本を読んでいます。現在は黄緑(20冊)の実が多いですが、中には黄(40冊)赤(60冊)銀(80冊)金(100冊)の子どもたちもいて、読書量がどんどん増えていることを嬉しく思っています。全校児童の貸出冊数は、7月16日現在18,535冊です。

夏休みは、時間がたっぷりあるので、読書に親しむよい機会です。本をたくさん読んで、読書感想文・感想画にチャレンジするのもいいですね。



